

3.6 明治 44 年（1911）8 月 4 日の水害

明治 44 年（1911）8 月 4 日にも大洪水がありました。女鳥羽川の堤防は破壊され、北深志町の東部が浸水しました。薄川も同時に決壊し、南深志町東南部が浸水しました。

重要文化財明智学校資料集刊行会（1989）によれば、「8 月 4 日降雨引き続き、水勢増加し午後 5 時頃濁浪白門前（男子部）の柳橋は危険になった。

午後 8 時頃に至り男子部長より男子部の危険が迫りきているとの報告があった。降雨益々激しくなったが、水勢の本流に変化があり、源池部に向かう水勢は減少するようになった。

各町の道路は川と変じ、洪水は腰まで達した。男子部前に至れば、仲町・本町からの水流は黒門前から女鳥羽川に滝をなして流入した。男子部の白門前の古堀は水流のため、6 尺（1.8m）程押し流され、男子部も浸水した。なお、女鳥羽川の北側地域にはほとんど水害はなかった。」と記載されています。

この時の損害は流家 2 棟、浸水 720 戸、堤防破壊 133 間（239m）と記録されています。松本市立博物館に被災状況を撮影した絵葉書が保存されていたので、一部を紹介します。



写真 3.13 松本市の水害 北小松水害の惨状
（松榮堂発行の絵葉書、松本市立博物館蔵）



写真 3.14 松本市の水害 本町通りの惨状
（松榮堂発行の絵葉書、松本市立博物館蔵）

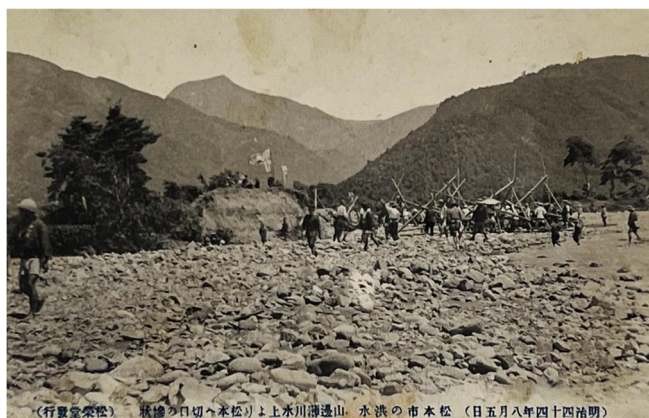


写真 3.15 山辺薄川水上より松本へ切口の惨状
（松榮堂発行の絵葉書、松本市立博物館蔵）



写真 3.16 松本市の洪水 山辺北小松水害の惨状
（松榮堂発行の絵葉書、松本市立博物館蔵）